

## 書き損じハガキ、(未使用)切手を送ってください!



ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていますか？ 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力お願いします。

ご協力ありがとうございます

<後援会費を振り込んでいただいた方>(敬称を略させていただきます)

大槻小浪 祝原静枝 三谷恵子 浜田尚 橋井年子 阪本百合 坂本吉章  
石崎邦彦

<カンパ・寄付をいただいた方>

松野明子 赤川由里子 タツタ電線労働組合 谷山洋子 三谷恵子 佐藤かよし  
ティグレ東大阪 廣瀬明彦 東大阪市教祖元書記長故高橋誠貴告別式参加者一同  
東徹 石黒 石崎邦彦

<書き損じハガキ・未使用切手・未使用テレホンカードをお送りいただいた方>

西田美知子 中川ちほ 田中きみよ 武田直子 宮田隆志 有久幸子 石黒  
西尾心治



## パンフレット・『“自己実現を展く環境”を創る』 定価1000円

パンジーの7年のあゆみや取り組んできたことを、パンフレットにまとめました。『パンジーだより』に連載した「言葉とコミュニケーション」を、「みずな&ガーリックくん」として、かわいいイラストと共に新たに掲載しています。今後は、10月21日のシンポジウムをふまえた本を発行する予定です。おたのしみに！

パンフレットをご希望の方は、パンジーまでご連絡下さい。

TEL 0729-63-8818 FAX:0729-63-8825 E-mail pansy@yb3.so-net.ne.jp

## 「障害者自立相談のるで！」 自立生活支援センターわくわく

自立支援、在宅で行くところを探しているなど、

さまざまな相談に応じています。（詳しくは13ページ参照）

TEL 0729-60-3611 FAX 0729-60-3613 E-mail wakuwaku@yb3.so-net.ne.jp



パンジーでは、  
後援会員を募集  
しています

賛助会員	1口	1カ月	500円
本会員	1口	1カ月	1,000円
特別会員	1口	1カ月	5,000円
郵便振替番号	00950-1-300551		
クリエイティブハウス「パンジー」			

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8  
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818  
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会  
大阪市東中浜2-10-13  
緑橋グリーンハイツ1階

KSKR  
No.41



## パンジー だより

発行 2000年11月  
編集 クリエイティブハウス  
“パンジー”

内田明宏



## 外へ動き出す気持ちを忘れない

まだ夏の日差しが残る9月28日・29日、和歌山県白浜へパンジー旅行に行ってきました。4月にパンジーⅡがオープンし、新メンバーも加わって総勢86名という大所帯の旅行でした。初めて参加する人や、2泊3泊といった旅行には参加できずにいた人も、みんなで一緒に行こうと、1泊2日の旅行になりました。

1日目はマリーナシティに行った後、白い浜辺が窓の外に広がるホテルに宿泊。砂浜で皆が心待ちにしていたビーチバレー大会をしました。パンジーⅠ対パンジーⅡの対抗戦で、全員がコートに入り、人口密度の高い中でボールを追いかけ、とても盛り上がりいました。2日目はアドベンチャーワールド。動物が野性的に暮らす世界へ、人間がバスや車に乗って対面——と聞いていたので、「ライオン、大丈夫か？」と心配する人もいたのですが、行ってみると、ライオンは寝てばかり。ホッとするやら気が抜けるやら。遊園地では、大観覧車、ジェットコースターなど、冒険する気持ちで乗り込んだら、予想以上に気に入って「楽しかった」の一言、上気した表情が印象的でした。

今回初めて経験した大人数の旅行でしたが、経験を積んだメンバーのさりげないサポートに助けられて、皆で沢山の思い出を作ることができました。

さて、10月21日、大阪府立中央図書館内のライティホールにて、パンジーの7年間の歩みを総括し、今後の方向性を明確にするという目的で、「知的障害者の自立と支援のあり方」をテーマにしたシンポジウムを開催しました。この日を迎えるに当たって、職員間で話し合いが続けられました。それは、職員としてパンジーが目指しているものをどのくらい理解し、実践のベースにしているのか問われるものでした。また、シンポジウムの講演では、職員が施設という限られた空間に温存して、外へ動き出す気持ちを忘れてはいいのかという点も指摘にありました。シンポジウムを終えて、パンジーの当事者運動が社会の中で大きく期待され、注目されていることを改めて強く感じました。今、自分が関わっていることをもう一度見直して、これからも積極的にいろんな人を巻き込んで、社会に出ていく場を広げていきたいと思います。

シンポジウムに沢山の方が参加して下さいました。遠方からも参加して下さい、本当にありがとうございました。  
(はたなか)

## パン・PAN・クリエイティブ・CREATIVE・配食サービス・HAISYOKUSERVICE

パン屋



### 苦心の末の、お好み焼きパン

9月から奈良県大和郡山市の幼稚園に週一回パン給食を届けることになつて、2ヶ月が経ちました。当初はメンバーも職員も、350個ものパンを作ることにびっくりし、「こんなにいっぱいあるの…」とため息をつくことがあったものの、今は慣れたもので、給食の日は、パン屋一同張り切って作っています。問題は、新作パンの出来具合。10月に、試作パンとして出した「お好み焼きパン」が職員やメンバーから拒絶されたときは、どうしたらいいのかと頭を抱えてしましました。「見た目がまずそう」「ソースが辛い」「とにかくまずい」等々。給食日も日が迫っており、おまけに10月はイベントが盛り沢山で、試作をする時間もありませんでした。アイデアはあったものの、それを形にすることのできないまま迎えた当日の朝。焼き上がったパンはうれしいことに、今までの中でもっとも見栄えがよい。そして味はと言うと…「これはいける！」。内輪の感触もよく、苦心の末に出来上がった「お好み焼きパン」でしたが、肝心の園生さんの評判はどうだったのでしょうか？

何はともあれ、これからもパン屋は園生さんに喜ばれるパンを作り続け、そしてそれをお客様に還元できるように努力していきたいと思います。

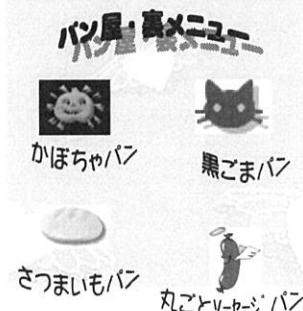
(福岡)



### チーム・クリエイティブハンガー！

クリエイティブでの作業の一つにハンガーの組立があります。4種類の部品を付け合わせて完成するのですが、メンバーは自分の一番やりやすいパートをもって数をこなしていきます。ゴムをつける人、ゴムをつけた部品を箱に入れる人、部品を気持ちよく床にはらまく人、わざわざ10分おきくらいにパン部門から出張ってきて部品の流れを監督する人など、一つのハンガーが完成するのに全員の手を渡り渡って箱詰めされます。その数、一日1500本。

他にも作業はあるので、全員がハンガーの組立てに参加しなくともと思うのですが、誰かが休みなどで抜けると、たちまち流通プロセスといいましょうか、パイプが詰まったようにペースも崩れ、詰まった部分の部品がみるみるうちに溢れ出て来るので。



## 不十分な制度を活用する

かくわくだより

### ★ 障害児(者)地域療育等支援事業

10月から自立生活支援センター「わくわく」で「障害児(者)地域療育等支援事業」を始めました。これは、知的障害をもつ人のために、コーディネーターが相談を受け、サービスの利用についてなどの支援を行うためのものです。

この制度については、障害者運動を展開している各団体から、いろんな批判や不十分な点が指摘されてきました。自立生活プログラムやピア・カウンセリングといった、障害者が親元を離れ、地域で暮らすための自立支援の観点がないこと、障害者が障害者の相談にのったり、サービスを提供する当事者主体の観点がないことが大きな批判点です。その批判をふまえたうえで、「わくわく」では、地域生活支援を進めていくためにコーディネーターを配置している点を評価し、たとえ不十分な制度であれ、それを自立支援の観点に立って活用しながら、どう変えていくのかを模索しています。

「わくわく」では、当事者のリーダーであり、自立生活歴の長い生田さんが相談活動を行っています。地域から受ける相談の多くは、様々な理由から「在宅で行き場がなくて困っている」「介護疲れで入所施設に入れたいが、なかなかすぐ入れない」というものです。「入所施設には入れたくない」、「地域での自立生活を支えたい」という思いで一つ一つの相談に応じています。また、グループホームなどで自立生活をしている当事者が「じりつ新聞」を発行し、当事者から当事者への情報提供を進めています。まだまだ試行錯誤の段階ですが、大きなステップにつながると確信しています。

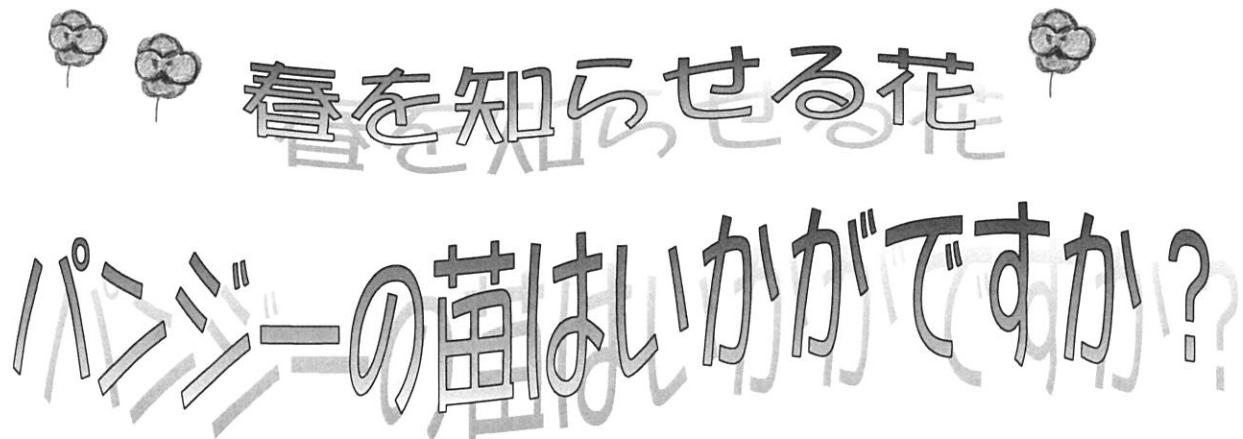
### ★ 大阪障害者生活支援ネットワーク会議

先日、大阪府と府下の「市町村生活支援事業」及び「地域療育等支援事業」を実施している団体の連絡会議があり、大阪府より「大阪障害者生活支援ネットワーク会議」の構想が提案されました。それには情報交換と相互研修、行政等への政策提言が盛り込まれていました。次に「障害者の地域生活支援を考える」と題する提起では、知的障害児・者の自立支援の方向性が弱い点を指摘し、自立や自己実現を支援していく必要性について明らかにされました。今後、パンジーとしても積極的に大阪府とピア・カウンセリングの方向性や自立支援のあり方について論議を重ねていきたいと考えています。そしてこの「生活支援ネットワーク会議」の内容が実のあるものになっていけばと考えています。

(豆子)

\* 生田進の相談日……毎週水曜日午後

電話相談………隨時  
詳しくは「わくわく」まで (TEL 0729-60-3611 · FAX 0729-60-3613)



今年もパンジーの苗を育てました。

1ポット100円です。赤、ピンク、黄、紫、白があります。

セット（おまかせ5ポット）も承っています。

FAX、お電話でのご注文お待ちしています！

※色によって数に違いがあり、数に限りがあるので、

ご希望の色が難しくなった場合は、連絡させていただきます。

クリエイティブハウス「パンジーⅡ」

TEL 0729-60-3612

FAX 0729-60-3613

### ホワイトガーデンセット

(5ポット)

白のパンジーを中心とした

「寄せ植え」ができます。

ローズマリー、ヘリクリサムがつい  
て、特別価格500円

キトリ

### 注文書

お名前

TEL

住所

注文

### パン・PAN・クリエイティブ・CREATIVE・配食サービス・HAISYOKUSERVICE

ハンガーの組み立ては一人ひとりが好きなように行っていると感じていた私ですが、大きな間違いで、実は決して言葉では現れないチーム・クリエイティブハンガーが存在しているんだと強く感じて、できあがったハンガーの検品作業をしている今日この頃です。

(竹内)

パンジーⅡ



### 「盛りつけ、やってみる！」

パンジーⅡでは、最近になってやっとお弁当の注文数が増えてきました。そこでメンバー全員で会議をし、「みんなで配食に取り組まないとやっていけない」と提案しました。するとみんなから、「わかった」「米を洗う」「盛りつけやってみる！」という、一生懸命やるぞと言う意見が返ってきました。この会議をした後の配食の弁当を作った日は、すばらしくみんなが働いていました。これから、配食がどんどん仕事の中心になっていきます。みんなで力をあわせておいしい弁当をつくっていこうと思います。

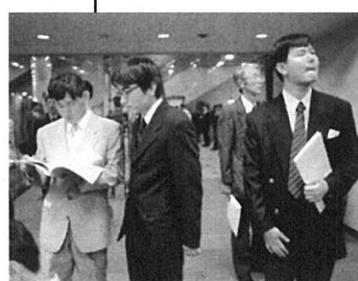
次に園芸のことですが、毎年恒例のパンジーの苗の植え替えが終わりました。今、大きくなるのを見守っています。野菜は、大根、水菜、菊菜、ブロッコリーなどを植えています。食べられる日が待ち遠しいです。ハーブの苗も育っていて、お客様を待っています。いろいろと仕事が増えてきてみんなも大変です。それでもみんなのペースで無理をせず助け合ってがんばっていこうと思います。応援よろしくお願ひします。

(みたて)



### Photo Library ・就職説明会に行きましたよ！

ぴったりの会社がなくてがっかりしたけど、あきらめんとこ！





## メンバーの思いを話しあう場を

パンジーは、「障害者の完全参加と自立を目指す大阪連絡会議」(障大連)という運動団体に加盟していますが、その障大連より、「グループホーム部会での世話人研修会で当事者に話をしてもらいたい」と依頼をうけました。それをきっかけに、グループホームメンバーの思いを話し合う場を持つことになりました。名称は「ひまわり会」。みんなで考えた名称です。今までに2回行いましたが、メンバーの中には、午後からの会なのに朝から楽しみに待ってる人もいました。それでは会議の様子を紹介します！

 Q：グループホームについての思いを聞かせてください。

梅原さん：ショートステイから始めて今年週3回泊まるようになった。

もっと増やしてもう少しだったら、一人暮らしがしたい。

岡本さん：週3回泊まっています。これからも介護者にいろいろ手伝ってもらってグループホームを続けたい。やっぱり、友達と仲良くなりたい。

小松原さん：今年1月に職員の滝川さんが迎えに来てくれたので、パンジーに来ました。今まで色々行ったけど、東大阪で働けてよかった。グループホームではゲームに夢中になっています。同居人の入れ歯軍団にも慣れてきたけど、介護者が泊まらないのが淋しい。

平石さん：グループホームがわかりやすい所にあるのがいい。肌勢さんと歳が一緒なので話がはずむのがいい。

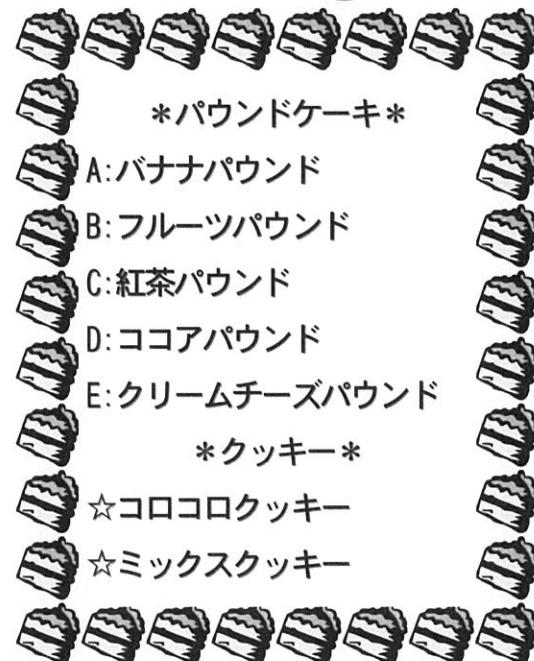
河野さん：グループホームではよくヘルパーさんと出掛けています。買い物に行ったりしています。好きなテレビはドラえもんです。

 Q：家ではできないけれどグループホームでできることはありますか。

梅原さん：グループホームではする事がいっぱいあります。買い物に行ける。ビデオを借りにいける。お酒が飲める。一緒に飲む相手がいる。好きな時間にお風呂に入る。

小松原さん：家では怖くて1人で買い物に行けなかった。グループホームではローソンへ1人で行ける。

福田さん：洗濯を家ではお母さんがしているけれど、グループホームでは、自分でしています。目玉焼きもつくっています。



パウンドケーキとクッキー(2ヶ)のセット、  
もしくはパウンドケーキ・2ヶのセットで

¥ 1 3 0 0

\* それぞれお好きなものを  
お選び下さい。

\*\* 遠方に限り送料が必要な場合があります。

問い合わせ先: 0729(63)8837  
FAX 0729(63)8825

クリエイティブハウス「パンジー」  
〒578-0973  
東大阪市東鴻池町2-4-8

お名前 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

A・Bいずれかをお選びください。Aセットの方は一つ、Bセットの方は2つのパウンドケーキに○をお書きください。

**A** パウンドケーキとクッキー  
パウンド\* A・B・C・D・E

**B** パウンドケーキ2本  
パウンド\* A・B・C・D・E

のし 有・無

配達希望日 月 日

## エッセイスト伝説

# 肌勢

## マント

マントを着てさっそうと走っていた。

前には悪者をやつける正義の心をもつ、やさしさの持ち主がきていた。

## みどりがめ

みどりがめの子が池の近くであつまっていた。すると大きなかめがもう一匹あつまっているともう一匹のみどりがめを近づいてきた。両方ともむきあってにらみあっているではありませんか。

## むかで

むかでのような大きな虫がドンドンと近づいてきていた。それには人はそれを見てびっくりしている人はその虫にくわれるかもしれない。

## めし

めしをくらうと大ぐらいなくらい食べるのである。あまりにも人間はびっくりしてしまって、どうにもとまらなかったのである。

## もり

森の中で数万匹のトカゲがあつまっていた。人はそれを見てなんてたくさんいるんだろう。何まんびきとかずの大ぜいのトカゲがあつまっているではないですか。しまいには人は食べられてしまします。

＜用語説明＞ ☆ エッセイスト = いわば、エッセイ書きの玄人。バイニン



肌勢さん：夕食の材料をカナエに買いに行きます。ビデオを借りに行って観ています。洗たく物を干しています。

Q : これからグループホームでしたいことは何ですか。

肌勢さん：スパゲティー（ペスカトーレ）を作れるようになりたい。

梅原さん：料理の日を作ってほしい。

西尾さん：もっと外出したい。お祭りに行きたい。お金をためて梅原君と温泉に行きたい。

Q : 介護者に一言！

- ・介護者が変わるとときは早く教えてほしい。
- ・帰らないで泊まってほしい。
- ・しんどいですか？ ともっと聞いてほしい。
- ・グループホームの部屋のカギを持ちたい。

今までグループホームで暮らしてきた自信が、発言の一言一言からうかがえます。先日行われたパンジーのシンポジウムでは、3名のメンバーがパンジーに対しての胸の内を出しました。メンバーの中には、やりたいこと、知りたいこと、腹立ったこと、悲しかったことがいっぱいあると思います。そんな思いが話し合える場になるよう、メンバーから出てきたことを受け止めながら、もっともっと素敵なグループホームと一緒に作っていけたらと思います。 (のむら)



## おいしく・友のしく

5月からの配食サービス(お弁当)を夢中で作って、6ヶ月がもう過ぎて行きました。コープのカタログを見つめながら、体によい旬の物をと、メニューを考えている調理担当。メンバーの人たちも、厨房に入ってお米をといだり、野菜を切ったりと、てきぱきと働いています。

配膳係のメンバーは、「おいしく、美しく」を心がけて盛りつけをし、皆のチームワークでお弁当が出来上がっています。食中毒が出ないよう、「手洗い、消毒、清潔に」が合い言葉で、一生懸命働く厨房の仲間です。お弁当のご注文をお待ちしています。 (おかもと)

パンジー II・厨房より

みんなのページ



## みんなで行った！ パンジー旅行in白浜

9月28日(木)～29日(金)

今年は、パンジーⅡができて、2つのパンジー合同での旅行。みんなが参加できるよう、1日2日で、白浜へ行った。総勢86名の大所帯。いったいどんな旅行だったのでしょか？

バスの中の様子(観光バス2台とパンジーバス1台、ライトバン1台の旅行)

・観光バスは、みんなが踊って、盛り上がって楽しかった。(と)(平石)

和歌山マリナシティ。

チームによってはハードな散策。

・ぐるぐるコースターがよかったです。速くて高くて落ちるかと思った。(溝端)

・マリナシティーで遊んだ(と)。

・ジェットコースターに乗ってこわかった (と)。

〈また乗りたい？〉 いやん。(平石)

白良浜で大バレーボール大会。人数無制限  
パンジーⅠ対パンジーⅡの対抗戦。

・ビーチバレーボールがすごく楽しかった。

(富田・河野(伸))

・ビーチバレーボール大会、ボールさわってたたいた。(堀川)

夕食は大宴会。カラオケやbingo、ハンガー目隠し早組み立て競争(宴会で仕事!?)で、楽しんだ。

宴会のビール代にびっくり。

・bingoゲーム僕が司会をした。(岡本)

・たくさんお酒を飲んで楽しかった。もっとビールが飲みたかった！「上を向いて歩こう」を1番に歌った。(青山)

・宴会中記憶がないけどカラオケの機械壊したみたい。

宴会終わったら車椅子のバッテリー切れてて大変やった。(梅原)

・ものまねして楽しかった。加山雄三の「海、その愛」を歌った。(平川)



全員がコートに入り、戦った。  
めっちゃくちゃ盛り上がった。



宴会での、  
目隠しハンガー早組立て競争  
勝敗はどちらに？！

からだ・いのちのこと（3）

食べること



中新井澤子

記憶や意欲を高めるドーパミンという神経伝達物質をご存じだろうか。いきなりで恐縮だが、この脳内物質の活性化に一番効果があるのが好きな食物をとること、次いでほめられること、三番目は快い皮膚刺激だということが動物実験で証明されているそうだ。人間についても全く同じと考えてよいと聞いて私は「食べるため生きる」と明言していた亡夫のことを思い出しておかしかった。同時に、食べることに苦勞(?)しているパンジーのメンバーの顔がうかんで、食べる行為が生命維持のためだけでないことを改めて考えてみたいと思った。

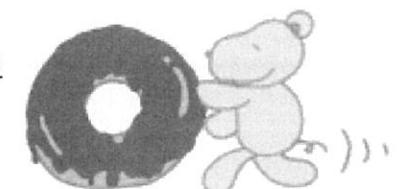
メンバーの中には食べることが大好きなのに、病気の予防や肥満のために食事制限している人がいる。ダイエットの意味が理解できる人でも、なかなか困難なのだが、分らないまま制限されているメンバーにとっては、かなりのストレスになっていることだろう。食べる楽しみを奪わないために、食材や調理の工夫による低カロリー食や運動によるカロリー消費など、もっと皆で知恵を出し合わねばならない。

一方で、食べるのに努力の必要な人もいる。食べたくなり、ひどい偏食、味や温度へのこだわり、アツという間の速食い、咀嚼や嚥下困難などなど。食事を楽しむゆとりがなく、ただ食べることにエネルギーを使っているように見える。

彼らが幼かった頃、「日常生活動作の自立」が療育の大きな目標であった。食事の時間は親子が「おいしいね」を共有して楽しむというより、1人でスプーンやはしを使ってどれだけ栄養を摂取するかが課題になっていたことだろう。近年目標は大きく変わって「生活の質の向上」になった。食事だけでなく排泄や身支度についても、形の自立よりもその中味が問われているのだ。

Yさんのことを報告しよう。彼は午後の作業中よく口をモグモグさせていた。はじめは胃からの逆流かと思っていたが、彼の食事に付き合ってみて、その食べ方に驚いた。とにかく目の前の食べ物を次々に口に入れる。常に口の中が満杯で十分かむこともできず、そのまま食道に押し込まれている感じである。

そこで、ある程度の量を食器にとり分けて口の中が空になってから次を食べるよう介助してみることにした。嚥下を確実にするだけでなく、声をかけたり催促されたりしながらの食事にして、心身とも満足感を感じてほしいと願っている。



## 新人紹介

青井宣聰



僕が、パンジーにきた理由なんて、本当に大したことなくて、単に実習に入ったときに居心地が良かったからで、実習の後で施設長にそのことを話すと、そんなんで仕事を選んじゃダメだと笑いながら、グループホームでのバイトの話を勧められ、この仕事についても深く知らずに決めてしまったのだが、こんな僕でも、つばさや青空で何とか半年近く働けていて、とう事は、つまり、障害者とつきあうのに、特別立派で優しい性格でなくてはつとまらないという訳ではないという事が、実証されたことになり、その事だけでも、僕がパンジーに来た意味があるのだと言ったら、また施設長に笑われるんですかねえ。

松村和弥



こんにちは。今年6月からパンジーでお世話になっている松村和弥です。じつを言うと、パンジーのメンバーと出会ったのはこれがはじめてではありません。ここ数年のピープルファースト大会に私も参加しており、そのときにパンジーのメンバーの元気な姿を見ています。同時に自分の生き方をしっかり考えようとしている気がしました。そんなパンジーの仲間により身近でつきあえる機会を得たわけですから、これを大切にして自分の人生に何かためになるものをつかんでいきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

### 「障大連自立セミナー」に、さんかしませんか？

テーマは「障害者の自立しえんのあり方についてかんがえる」。

パンジーのメンバーと、スタッフがシンポジストで、はなします。

ひるからは、ちてきしょうがいしゃの「なかま会」でぶんか会します。

なかま会では、大阪のなかまがあつまって、いろいろなはなしを

しています。ことしのセミナーでは、クイズや「わたしのゆめ」に

ついてはなしをするから、みなさんもきてくださいね！（パンジー

ひにち 12月10日(日)(10時～全体会 11時～シンポジウム 1時～4時ぶんか会)

ばしょ あしはらばしそうごうふくしセンター(JR環状線 芦原橋下車 徒歩10分)

さんかひ 1000円 なかま会のみ・500円



宴会が終わったらくつろぎの時間。海の見える露天風呂でホッと一息

・あのなー、おみやげ買った。海がよかった。シロウさんと泊まった。（野畠）

・ホテルは普通。ごはんはいまいち。でも温泉はすごくよかった。（水月）

<質問形式で、声を出して答えてくれた>

・ごはんはおいしかった。温泉はいまいち。おみやげ買つた。また行きたい。（田中）

<質問形式で、手をあげて答えてくれた>

・旅館のお風呂で泳いだ。楽しかった。（河野（陽））

・泊まれるのが好き。ごはんおいしかった。（田辺）



マリナシティの急流すべり。  
ビヨビヨになつたけど楽しかった

### 2日目 アドベンチャーワールド

人と動物と自然とのふれあい。

・楽しかったGグループ。東さんや河野さんと一緒に楽しかった。（宮田）

・ワールドサファリは動物に会えてよかったです。何見たかは忘れた（と）。（平石）

・ライオンを見た。ライオンは寝とった。（野畠）



パンダの前。動かないパンダに、  
「人間が入ってるんちゃう？」

なかなか旅行に行けなかったメンバーや、今年  
始めて参加したメンバー。旅行はどうだった？

・ライオンのところに入った。観覧車乗った。（内海）

・観覧車、外きれいやった。また乗ってみたい。（好川）

・来年はもうちょっと泊まりたい！（水月）

### 全体を振り返ってどうだった？

・みんなで行けてよかったです。ビーチバレーが一番楽しかった（岡本）

・田辺）

・楽しかったよ。（湯浅）



### 来年に向けてご意見を。

・来年は鳥羽ヘラッコを見に行きたい。（野畠）

・新婚旅行ならお前が決めろ。（辺見マリこと東）

・次はハワイ!! 北海道と。ほんまに行きたい  
わ！（青山さんとその周り）

★ 来年の旅行はどこになるのでしょうか。

来年も旅行に行きますか？  
「ハーハー！」



# “自己実現を展く環境”を創る、その一歩

[10/21パンジー・シンポジウムの報告]

創思苑理事長の牧口一二が主催者を代表してあいさつし、パンジーⅡ施設長の林淑美から7



年間の歩みを報告し、シンポジウムははじまりました。

## ●かつてにきめるな

メンバーの講演テーマは『パンジーのいいとこ、わるいとこ』でした。講演メンバーは2~3日前から緊張していました。いろんな思いがあったのでしょう。発言してくれた内容に、職員としてしっかりと答えていくようになりたいと思っています。

牧口さんからメンバーへのインタビューは、「給料上げたい」という話しから始まりました。「年金をもらってない人には、もっと給料をあげなあかん」。「給料もらってどこに行くの?」「スナックにお酒を飲みに行くんや」と生田さん。「だってな、一人で飲んでもうまないやん」と話すことばに、人生の悲哀や喜びをいっぱい重ねてきた生田さんの年輪を感じました。

最後に牧口さんが「パンジーのええとこって、ないか?」と質問したところ、答えがなかなか返ってきませんでした。だいぶん苦労した末に、梅原君が「まあまあかな?」と発言。私は苦笑いしつつ、現状に満足していないメンバーを頼もしく感じました。



「仕事を増やして欲しい」「1日の仕事の予定を教えてほしい」 (福田直美)

「ぼくのいないところで、職員やほかの人人がぼくのことを決めたら、むちゃむちゃい

括文などを参考に、ほんとうにピープルファーストにかなった取り組みになっているのか、パンジーのめざしてきたものが職員間で共有化されているのかなどの提起を受けました。知的障害者が自ら未来を切り開いていく活動への熱い思いでの話しさは、うれしくもありました。投げかけられた提起を肥やしにして、歩み続けようと思います。



「ピープルファーストにかなった取り組みになっているか。パンジーのめざしてきたものが職員間で共有化されているか」 (河東田博)



「入所施設へ送らない、出会ったことには誠実に応えることを基本方針として地域支援をしてきた」。  
(廣瀬明彦)



就労支援は「最終的には、利用者への人間としての共感と信頼を持つて関わっているかどうか」  
(栗原久)



(広田)

## ●第2部 シンポジウム・「知的障害者の自立と支援のあり方」

第2部はシンポジウム。シンポジストは、京都の相楽デイセンターの廣瀬明彦さん、箕面市障害者雇用支援センターの栗原久さん、パンジー職員の滝川峰子・豆子寿士。河東田さんがコメンテーターで加わり、パンジーの理事、楠敏雄さんが司会を務めました。

シンポジストが話し終ると、会場からは質問がたくさん出されました。当事者の家族から「独り立ちさせたいがすべがない」。施設職員

からは、「当事者活動を支援して作りたいが、立場上自己矛盾がある」という悩みが出されました。

ここで提起を受けたこと、これまでパンジーが積み上げてきたものは、きっと今後の糧となるでしょう。すぐに答えが出るとは限りませんが、まっすぐ進みたいと思います。



具体的なことばを入れてください一言で(滝川峰子)  
具体的なことばを入れてください一言で。(豆子寿士)

## シンポジウム・パンフレット(冊子)づくりにかかわって

パンジーⅡのオープnに合わせて一昨年頃より7年間の総括の冊子をつくり、パンジーのめざすものを確認しようとしてきました。しかし、職員がそれぞれに割り当てられた原稿も、日々の忙しさとパンジーⅡオープnの準備、そしておさぼり根性(これは私だけか)から、原稿の締切日が近づいても、集まった原稿はわずかでした。そんな時にも、「総括の必要性は解るが、その後どう展開するのか見えない」と言い訳を考えていたように思います。

それが理事からシンポジウムを開こうとの提案がされてからは一気に進み始め、週1回の総括会議を5人+αの担当職員で持つようになりました。どんなシンポジウムにするのか、どんな冊子を作るのかは集まった職員の中にも思いの違いがあったものの、会議は軌道にのりました。

そんな中、職員でありながら、今まで知らなかつたパンジーの歩みや悩みが見えてきました。日々のミーティングで機会あるごとに触れられてきたであろうパンジーのめざすものも鮮明になってきたように感じました。論のたたない私にとっては、正直、苦痛な時もありましたが、会議に参加できて本当に良かったと感じました。

冊子の[序文にかえて]の部分に書かれている、「時々は立ち止まって自らをチェックすることも必要だが、基本的には前進あるのみである」のように、今回このシンポジウムで『自らチェック』(シンポジウムの後の整理はまだだが……)をし、それに溺れることなく、小さくともあるいは遠回りであろうとも、着実な一步を刻んでいきたいものです。  
(みつよし)

★シンポジウムの内容は、来春をめざして冊子にする予定です。ご期待ください!